



栄光の未来

R7.2.27 発行
第 26 号

学校運営協議会

今年度の学校運営を振り返る

4月にスタートした第2期コミュニティ・スクールの初年度が終わります。今年度最後となる第4回学校運営協議会を21日（金）に開催し、今年度の学校運営の振り返りと来年度の学校教育ビジョンについての協議を行いました。



今年度、東石山中学校では「生徒の主体性の育成」を大きな目標として学校教育ビジョンに掲げ、その達成に向けて取り組んできました。生徒の皆さんに対しても、機会あるごとに「生徒の手による学校づくり」を呼びかけた結果、行事や生徒会活動、学級・学年活動などにおいて、皆さんが学校づくりの主体者として素晴らしい頑張りを見せてくれました。校長として、うれしく思います。

ここで、今年度の学校運営について振り返ります。

【目標1：授業を通じた「主体性」の育成】

生徒アンケートの項目「授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思います」で、4段階評価の最上位評価が35%以上（R5前期は30.8%）

【目標2：特別活動を通じた「主体性」の育成】

生徒アンケートの項目「学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したりしています」で、4段階評価の最上位評価が35%以上（R5前期は32.6%）

いずれの目標も、4段階評価の上位2つの合計、いわゆる「肯定的評価」の数値を評価基準としていません。それは、生徒が自己評価をするに当たって「自分はしっかりと取り組めた」と自信をもって言える生徒であってほしいと考えたからです。そのため、「最上位」評価の数値にこだわって評価基準を設定しました。そして結果は、目標1が39.9%、目標2が36.5%と、いずれも年度始めに設定した目標を達成することができました。

評価結果だけでなく、日頃の生徒の皆さんの姿からも、「主体性」は確実に高まっていると感じます。しかし、現状に満足することなく、更なる高みを目指していきたいと思えます。

来年度も「生徒の主体性の育成」を目標に！

学校運営協議会は、次年度の学校運営の方針について協議し、承認することも大きな役割となっています。委員の皆様から多くのご意見をいただき、真剣な協議を経て、重点目標として「生徒の主体性を育む教育活動の推進」を掲げて取り組んできた今年度の学校運営を継続・強化することで、承認いただきました。

これからも、「生徒の手による学校づくり」の一層の推進に向けて、生徒の皆さんの力を信じ、皆さんと共に、力強く学校づくりを進めていきたいと思えます。

